

西本太観展 — 素描の魅力 — 概要報告

展覧会名：西本太観展 — 素描の魅力 —

作家名：西本太観

会期：令和8年7月1日(水)～7月3日(金)

時間：10：00～12：00

休廊日：なし

展覧会概要テキスト：

素描 30点～40点を展示します。

作家プロフィール(一部抜粋)

1944年、奈良県天理市生まれ

1974年 同志社大学大学院文学研究科終了

米国のアトランタにある「C&S 銀行」で研修を受ける

韓国の「ソウル大学大学院」へ留学

絵を描くのは、子供のころから大好きだったので、機会があるごとに、日本だけでなく、世界各地の美術館・博物館・画廊などを訪れて、名画を多数鑑賞する。

2017年、京都国立近代美術館での「絹谷幸二展」で、ギャラリー・トークの後に、絹谷先生と言葉を交わしたのが、絵画制作の大きな機転になった。

それ以来、F130号などの大きな作品を描き始めた。

2025年 3月 西宮市立市民ギャラリーでの「関西独立展」に出品

7月 生駒市立芸術会館での「奈良独立展」に出品

【展覧会の様子】

